

## F L - P R 3 使用上の注意点

## 1. パラメータファイル

F L - P R 3 は、書き込みを行うデバイスのパラメータファイルをインストールしないと動作しません。  
ご使用の際には、パラメータファイルを A S M I S のホームページよりダウンロードして下さい。

<http://www.ndk-m.co.jp/asmis/>

## 2. 製品バージョン

F L - P R 3 本体 : L 1 6 .  
コントロールソフト : V 3 . 0 7 c  
ファームウェア : V 3 . 0 6 b

## 3. 制限内容

制限内容を一覧にて示します。

項番	不具合内容
1	ホストインターフェースにおけるパルル(プリント) I/F は、使用できません。(永久制限)
2	I I C 通信の通信クロックは、G U I 上のような値にしても 5 0 k H z 固定で通信します。(永久制限)

## 4. ユーザーズマニュアル(3版)差分マニュアル

a) PROM Load、Status、Down Load、E.P.V.、Program、Verify コマンド発行時のチェックサム表示機能追加

[ 関連頁 ]

P40,41,42,43,44,45,48

[ 訂正内容 ]

機能： F L - P R 3 のワーク RAM のチェックサムをコントロールソフトのログウィンドウに表示する。

計算方式： R A M のデータを単純加算し、下 4 桁を表示する。

計算範囲は、アドレス 0 から、対象デバイスの ROM 空間を含む 6 4 K 境界まで

例) 7 8 F 0 0 3 4 A ROM = 3 2 K 計算範囲 = 0 , F F F F h

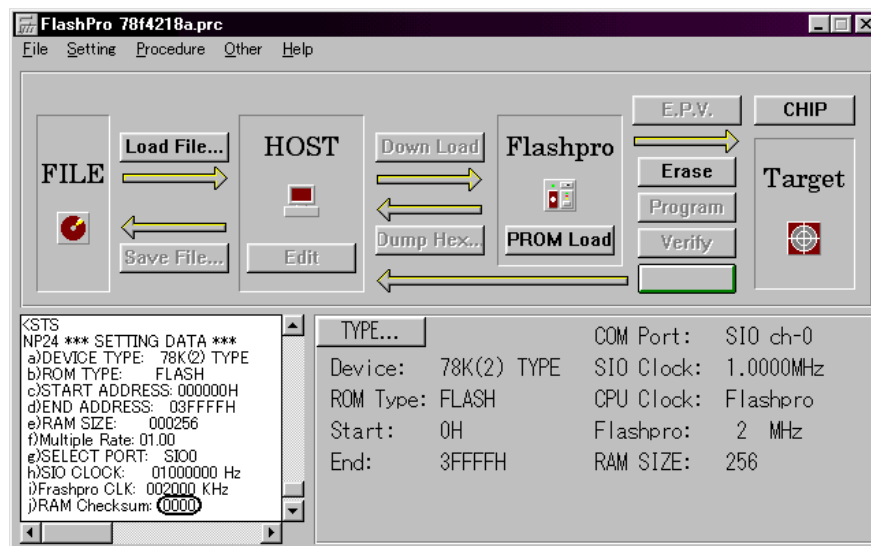
7 8 F 4 2 1 8 A ROM = 2 5 6 K 計算範囲 = 0 , 3 F F F F h

表示条件： Down Load 終了時

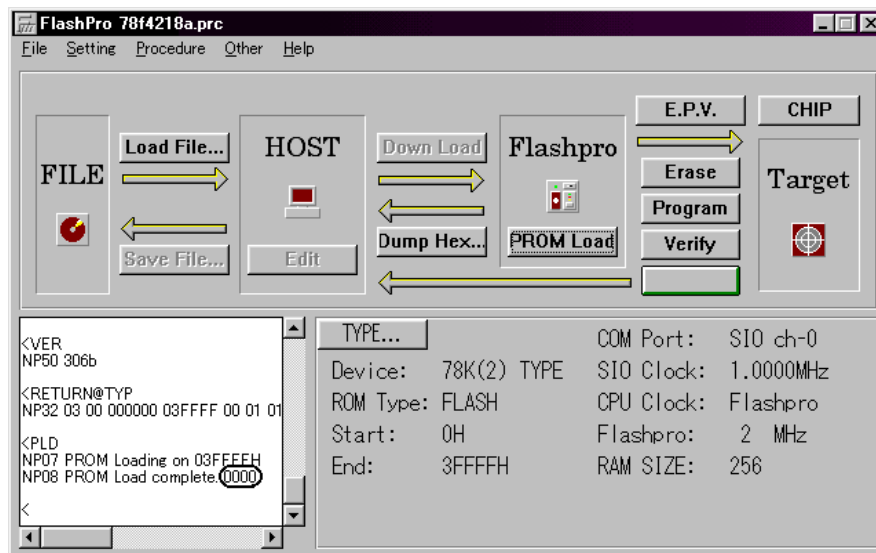
E.P.V.、Program、Verify コマンド終了時

Status コマンド終了時

PROM Load コマンド終了時



Status コマンド終了時



Down Load、E.P.V.、Program、Verify、PROM Load コマンド終了時

b) 単独イレース時にブランクチェックの追加

[ 関連頁 ]

P41

[ 訂正内容 ]

Erase コマンドは、Erase 処理のみを行っていましたが、Erase 実行前に Blank Check を実行するように変更いたしました。Erase コマンド実行時に、デバイスが Blank 状態であれば、Erase 処理を行いません。デバイスが Blank 状態でない場合は、Erase 処理を行います。

<Blank 状態の場合>

NP2F Blank checking now... xxs

NP0D Blank Check..OK.

NP0E Wait a moment, please.

NP1C Pre-Erase Device.

<Blank 状態でない場合>

NP2F Blank checking now... xxs

NP3D Blank check.. Failed

NP18 Erase setting xxxs

NP1A Erase setting OK.

NP30 ROM Erasing now... xxxs

NP0E ROM Erase..OK.

c) B L O C K 機能削除

[ 関連頁 ]

P46

[ 訂正内容 ]

BLOCK モードをメニュー上から削除しました。

d) スタンドアローン時の誤書き込み防止追加

[ 関連頁 ]

P56

[ 訂正内容 ]

スタンドアローン時に PROM Load を実行せずに E.P.V.、Program 及び Verify を実行した場合、E R R O R ランプが点滅し、誤書き込みを防止します。

以上